

第 15 回 国保野上厚生総合病院 精神科における医療安全

精神科病棟 副看護師長 榎葉雅人

精神科における医療安全の実態



当院は、医療安全に関する専門の部署がないため、それぞれ各部署のリスクマネージャーが院内の医療安全活動の役割を担っています。その中で今回、当院の精神科における医療安全の取り組みを紹介します。精神科では、意識障害の患者、自殺念慮を訴える患者、暴言や暴力のある患者、過量服薬やリストカットを行う患者など、精神機能障害に対する医療安全が求められます。また高齢化に伴う背景から、身体疾患の合併や認知症など高齢患者の増加に応じた医療安全への取り組みも重要となってきました。

精神科に特有の問題



1. 患者の行動に起因する問題

- ・ 患者の精神症状に伴う自殺や自傷行為、患者間や医療従事者への他害行為などがある

2. 標準化が困難

- ・ 患者-看護師関係を考えた時、患者の反応は様々で標準化による改善が困難な場合がある

3. 問題の背景や因果関係がみえにくい

- ・ 患者の言動が、実際の行動と同一線上にあるとは限らず、行動が必ずしも精神症状に直結しているとも言えない



国保野上厚生総合病院（本館）



東館：精神科部門



精神科病棟看護師

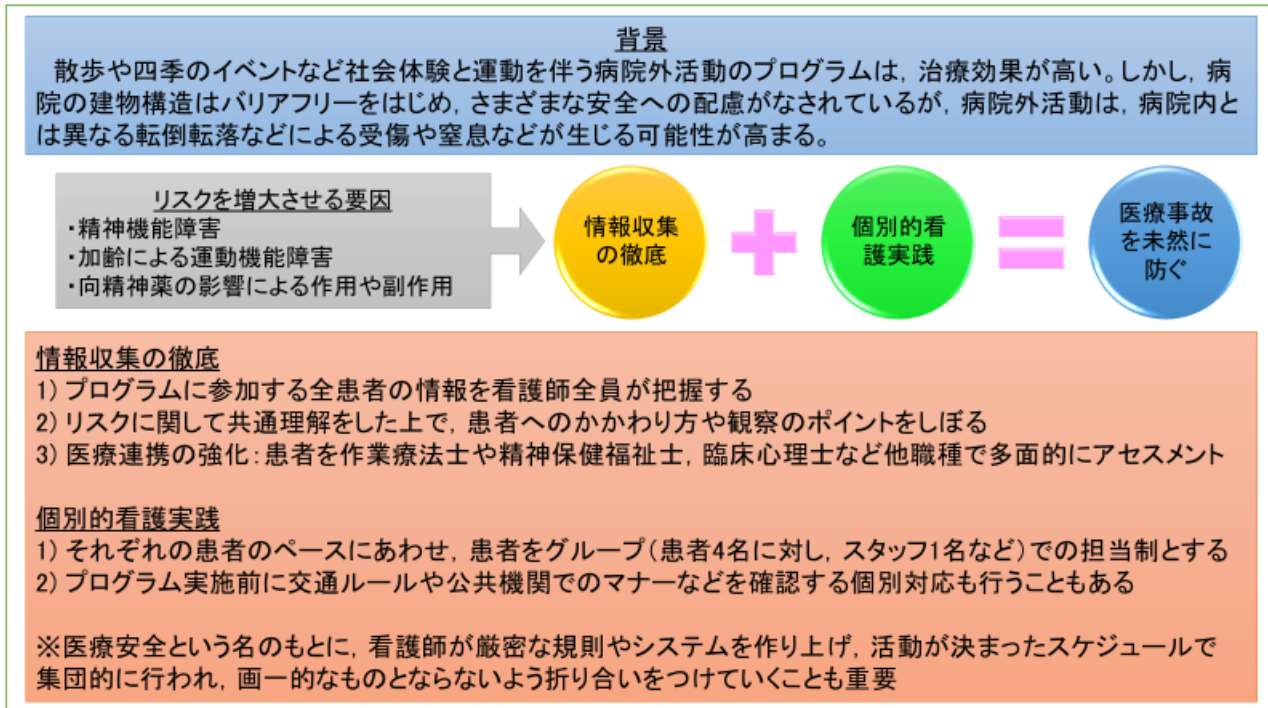


きみちゃん
紀美野町イメージキャラクター

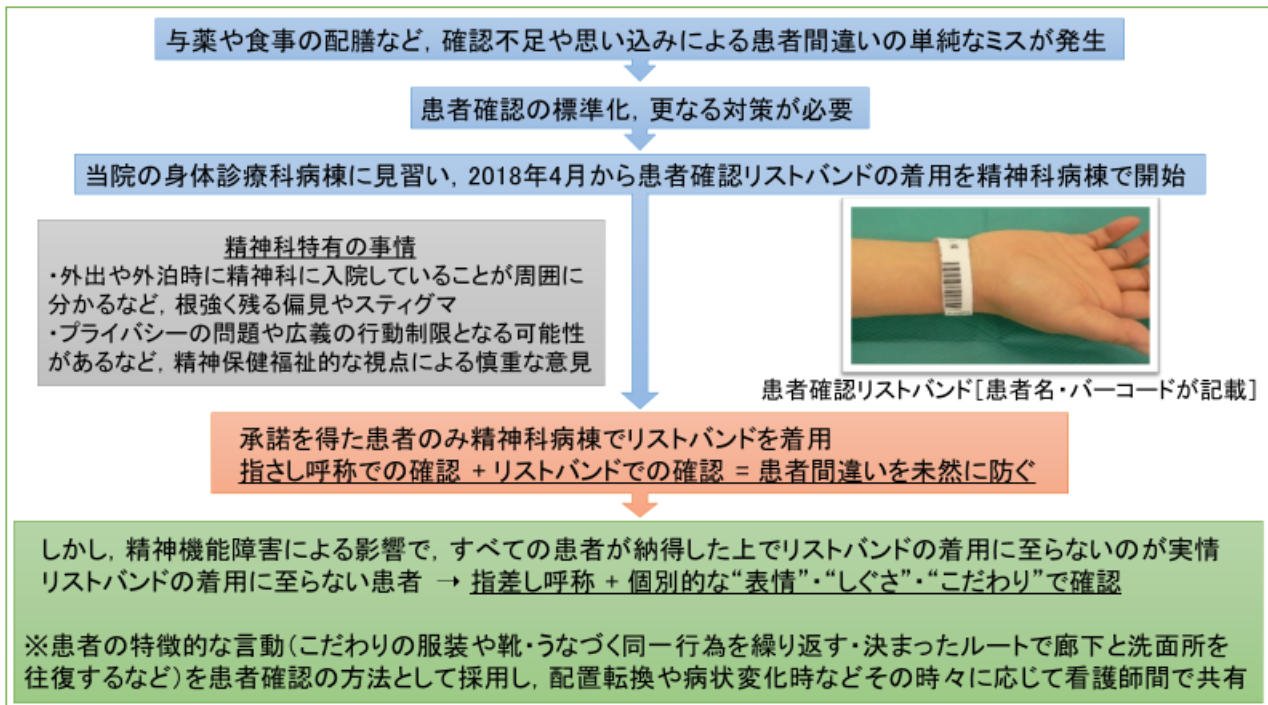
当院精神科における医療安全活動の実際



1. 精神科リハビリテーションでの取り組み



2. 患者確認の方法



これからの課題



精神科病棟での患者確認リストバンドを採用してから、患者確認に関連したインシデント報告は、採用前後 6 カ月で 5 件から 3 件へと減少し一定の成果をあげました。標準化が進みにくいことから、あいまいな表現が多くなる精神科では、身体診療科に比べ医療安全体制が遅れていると感じています。しかし、私たち看護師がまず率先して安全意識を高めていくことで、患者、家族の安全意識にも良い影響を及ぼし、それが精神科での医療安全の発展につながると考えています。



国保野上厚生総合病院

〒640-1141 和歌山県海草郡紀美野町小畑 198 番地

TEL : 073-489-2178 FAX : 073-489-5639

E-mail : kashiba_m@nokami-hospital.jp

